

みずほCustomer Desk Report 2017/06/30 号(As of 2017/06/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.30 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.36	1.1378	127.81	0.9596	1.2940	0.7637
SYD-NY High	112.92	1.1445	128.82	0.9598	1.3016	0.7687
SYD-NY Low	111.81	1.1375	127.76	0.9556	1.2925	0.7635
NY 5:00 PM	112.15	1.1442	128.30	0.9557	1.3005	0.7683
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.07/8.47		△25RR	0.820	Yen Call Over	

NY DOW	21,287.03	▲ 167.58	債券市場	日本2年債	-0.1180	▲0.4bp
NASDAQ	6,144.35	▲ 90.06		日本10年債	0.0630	▲0.1bp
S&P	2,419.70	▲ 20.99		米国2年債	1.3692	1.6bp
日経平均	20,220.30	89.89		米国5年債	1.8502	3.0bp
TOPIX	1,624.07	9.70		米国10年債	2.2666	3.9bp
シカゴ日経先物	20,010.00	▲235.00	為替市況	独10年債	0.4520	8.4bp
ロンドンFT	7,350.32	▲37.48		英10年債	1.2500	9.6bp
DAX	12,416.19	▲231.08		豪10年債	2.5040	4.7bp
ハンセン指数	25,965.42	281.92		USD/CNH	6.7935	▲ 0.0101
上海総合	3,188.06	14.86		ドルインデックス	95.63	▲0.38
USDJPY 3M Vol	8.65	0.55%	商品市況	CRB指数	171.886	0.91
USDJPY 6M Vol	9.02	0.44%		NY金	1,245.80	▲3.30
EURJPY 3M Vol	9.13	0.42%		WTI	44.93	0.19
EURJPY 6M Vol	9.43	0.20%		Dubai Spot	46.35	0.97

東京	東京時間のドル円は112.36レベルでオープン。特段目新しい材料が無い中、ドル円はじり安の展開に112.17まで軟化。前日からのユーロ買い優勢合いが続く中、ユーロドルが節目となる1.14台を上抜けるとユーロ円も128円台に上昇する展開となり、ドル円は112.30付近まで上昇。その後は、日経平均がやや値を下げる展開にドル円も一時下押しされるも、米金利が小幅上昇する中でドル円は反発する格好となり、結局112.35レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間中のドル円は上昇。朝方は112.35レベルでオープンし、ロンドン時間午前8時頃に112.13まで下落した後、112円台半ばまで反発する展開。米金利が上昇を続ける中でドル円も連れ高となり、112円台後半まで上昇し、112.69レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは主に1.29台半ばから後半で揉み合う展開。朝方は1.2960レベルでオープンし、全般的なドル売りとなる中でロンドンドルは1.30ちょうど近辺まで上昇。その後、ハルデン理事の「利上げの可能性を真剣に検討する必要がある」との発言が伝わりと約1ヶ月ぶりに1.30台にのせ一時1.3007まで上昇。その後は、調整の動きも相俟って1.29台半ばまで反落し、1.2970レベルでNYへ渡った。(ロンドントルジャー 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	海外時間は米金利、クロス円の上昇を背景にドル円は堅調推移し、112.69レベルでNYオープン。朝方発表された米第1QGDP(確報値)が2次速報値・事前予想を共に上回り、個人消費も上方修正されると米金利が上昇、ドル円はこの日の高値となる112.92まで上値を切り上げた。しかし、2016年2月以来となる129円を目前に失速したユーロ円をはじめ、クロス円が軒並み下落する動きに、ドル円も連れ安となり112.43まで下落。一旦は112.60付近まで反発したが、米株がIT関連株を中心に大幅に下げ幅を拡大したことから、リスク回避ムードが強まりドル円は一本調子でこの日の安値となる111.83まで下落。しかし、前日までの流れが継続しWTI原油が6営業日連続で上昇したことや、堅調な金融関連株に支えられ米株が下げ幅を縮小したことからドル円は112円台を回復し、結局112.15レベルでクロスした。なお、米下院金融委員会が半期に一度実施されるインフレFRB議長の議会証言は7月12日(東部時間午前8時半)、金融政策報告書公表は7月7日(東部時間午前11時)であることが本日公表された。一方ユーロドルは1.1407レベルでNYオープン。朝方は堅調な米経済指標を受けてドル買いが強まり、ユーロドルは1.1388まで下落。しかし、米金利低下を背景にドル売りが強まると、ユーロドルは高値1.1445まで反発。この水準ではユーロ売り意欲も強く、その後は1.1440付近でのレンジ推移に終始し1.1442レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:福田・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月29日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	15:30	日 原田日銀審議委員 講演	-	-
	18:00	欧 消費者信頼感	6月 -1.3	-1.3
	21:00	独 消費者物価指数・速報(前年比)	6月 1.6%	1.4%
	21:30	米 GDP・確報(年率/前期比)	1Q 1.4%	1.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 244K	240K
6月30日	2:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

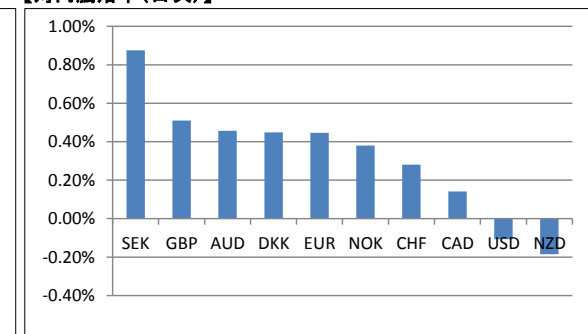
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月30日	8:30	日 失業率/有効求人倍率	5月 2.8%/1.48	2.8%/1.48
	8:30	日 CPI/コア/コアコア(前年比)	5月 0.5%/0.4%/0.1%	0.4%/0.3%/0.0%
	17:30	英 GDP・確報(前期比/前年比)	1Q 0.2%/2.0%	0.2%/2.0%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	6月 1.2%/1.0%	1.4%/0.9%
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	5月 0.3%/0.1%	0.4%/0.4%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	5月 0.1%/1.4%	0.2%/1.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報	6月 94.5	94.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.60-112.60	1.1390-1.1490	127.70-129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、上方向に行ってきたの値動きとなった。米1-3月期GDP確報値が市場予想を上回り、米長期金利も上昇したことから、ドル/円も上値を試す展開となり112.92円まで上昇した。しかし、金利先高観への懸念からNYダウが下落したことを背景にドル/円も下落に転じ、111.81円まで下押し、112円台前半でクローズしている。

本日は、上値重く、もみ合う展開を予想する。昨日のNYダウの大幅下落を受けて、日経平均も軟調な動きが予想され、ドル/円の上値を抑えると思われる。一方で本日は四半期末である為、実需筋の相当数のフローが見込まれることから、112円台半ばでは利益確定の売り、111円台後半では押し目買いが入る、上下に振れやすい展開が予想される。